



熱いぜ！③

読む力、表現する力を高めるために

6月23日は、太平洋戦争末期に沖縄であった地上戦で犠牲になった人々を悼む「沖縄慰霊の日」でした。

10月に修学旅行を控えた6年生が、新聞を手に「戦争と平和」について情報を得て、それをもとに自分の考えをまとめました。

この日の各紙の一面を飾ったのは、沖縄慰霊の日ではなく、アメリカによるイランへのミサイル攻撃の記事でした。子どもたちの目と心にどんなことが突き刺さったのでしょうか。下に写っている6年生の表情を見てほしいのです。新聞に書いてある「戦争の事実」「写真という記録」「人々の思い」「記者の主張」などの情報を熱心に探し、真剣な眼差しで読み深め、心で感じ、つぶやいていました。

新聞に書かれている事実、思いや主張に触れながら、「戦争と平和」について、知ることから始めてほしい。そして、関心を高めながら、修学旅行の事前学習につなげてほしい。主体的に物事を考え、行動できる人間になってほしいという担任（大津）の願いが、新聞を活用した具体的授業として実践されています。



調べてわかったことや自分の考えをタブレット入力します。友達のものと比べると、より自分の考えに「やはりこれでいいんだ」と自信が持てたり（強化）、「そういう考え方もあるんだ」と、気づいたり（広がり）できます。

